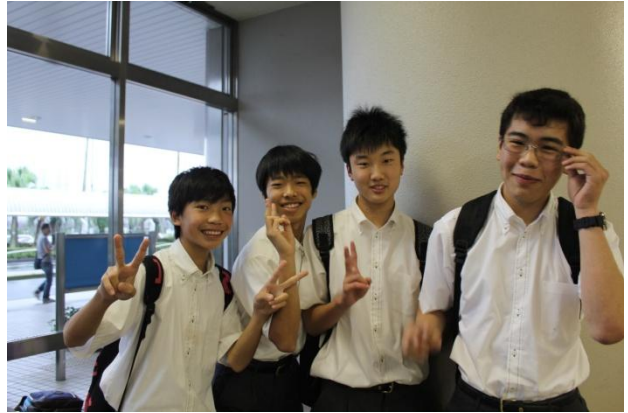


修学旅行 旅日記

■ 7月7日（火）くもり時々雨

早朝6：45に宮崎空港に集合。眠いけど、みんな元気です。一人の遅刻者もなく集合完了しました。空港ロビーの七夕飾りを見て、「あ、今日は七夕だ。」という声。雨が上がるようにとお祈りした人も・・・。



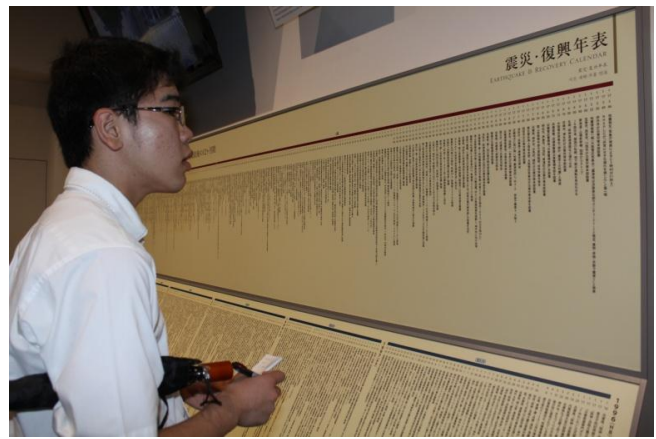
出発式では、学級委員長のあいさつ、校長先生、本部長先生のお話がありました。「一生の思い出に残る修学旅行です。まずは安全第一、保護者の方々に感謝しながら、文化や歴史などの見聞を広め、友達との絆を深め、無事に帰ってきて下さい。」との激励の言葉もいただきました。早朝からお見送りいただいた保護者の皆さま、ありがとうございました。



飛行機は小さく、ほとんど貸し切り状態でした。飛行機まで地面を歩いて飛行機に乗り込みました。初めての経験に少し興奮気味でした。



最初の訪問地は、神戸にある「人と防災未来センター」でした。「1.17シアター」で震災を追体験した後は、震災の記憶をたどるフロアや減災・減災フロアで各自真剣に学習する姿が見られました。



次に訪れたのは、清水寺。小雨の降る中でしたが、いつでも何でも前向きに考えられるのが3年生のいいところ。「風情があるなあ・・・」などつぶやきながら歩いていました。中には、「僕、なんか感動しています。きれいだと思いますか。いつかプライベートでもう一度来て、ゆっくり見て回りたいです。」としみじみ語る生徒の姿もありました。



さあ、待望の昼食です。有名な清水順正おかべやで、京都名物の豆腐三昧のコースをいただきました。美味しさと量の多さに驚きながらも、みんな楽しそうにいただいていたました。



次は、京都御所。なかなか簡単には見学できない場所なのですが、昨年度から行程に入っています。まず、室内で案内ビデオを試聴した後、ガイドさんについて説明を聞きながら見学してきました。



いよいよ京都市内の旅館に到着！昼食を食べ過ぎて「もう入りませ〜ん！」と叫んでいた生徒たちでしたが、目の前のご馳走を見てニコリ！「これなら入りそうで〜す！」後片付けまで自主的にやっていました。





順番に入浴した後は、大部屋を貸し切って、みんなで自由時間を満喫していました。トランプや将棋、UNOを楽しむ生徒たちや家族に絵葉書を書く生徒たち、「これできますか？」となぜか体操を始める生徒たち、職員も一緒に楽しいひとときを過ごしました。





■ 7月8日（水）くもり ----- 班別自主研修の日

昨夜の天気予報では降水確率80%ということで大変心配していた天気でしたが、この日はくもりで、みんな大喜びでした。6時半起床、7時には朝食をすませて、各班ごとに元気よく出発して行きました。







チェックポイントの金閣寺は、どのグループもほぼ予定通りに無事通過しました。それぞれのバスの運転手さんたちとも随分仲良くなっているようで、会話ははずんでいる様子でした。



到着するなり、先生方に研修中の出来事を一生懸命報告する姿があちらこちらで見られました。



ここまでの生徒たちの行動や態度は素晴らしく、時間もしっかりと守り、けじめもつき、いつも笑顔で声を掛け合って頑張っていました。そこで、希望者のみに京都駅周辺での1時間程度の自主研修を許可しました。旅館から京都駅までは徒歩で約10数分。グループ研修で疲れていた2人を除いて全員が意気揚々と出かけていきましたが、実は、この研修で2つの出来事が起こりました。

[エピソード1] *****

5時までには帰って来ることになっていたのですが、時間が迫っても、女子が5人戻って来ません。京都駅周辺にいる先生と連絡を取り合っていると、自転車を押しながら歩く30代くらいの女性と一緒に、必死で帰って来る3人の姿がありました。「とても慌ててはる様子やったので声をかけたら、旅館がわからなくなったとのことだったので携帯で調べて連れてきました。叱らんといでくださいね。ほんまにいい子たちですね。遅刻したらあかんてずっと気にしてはりましたよ。」と笑顔で言い残し、爽やかに去って行かれました。うつむいて心配そうに立っている3人に「あらあら、大変だったねえ。でも、いい人と出会えてよかったね。」と声をかけると、安心したのと同時に、我慢していた感情が込み上げてきたのか、涙が溢れていました。どうやら西本願寺と東本願寺を間違えたようでした。しかし、京都の温かい人情に触れて、3人は感動しきりの様子でした。



[エピソード2] ****



集合時間の5時少し前に、黒木先生の携帯電話に見知らぬ方からの電話がかかってきました。中学生2人に「ここに電話をしていただけませんか。」と頼まれたとのこと。よく聞いてみると、旅館に帰る途中で、道路と歩道の間でかけて起き上がれなくなっている高齢者の方に遭遇したようです。2人はその方を助けようとしていて、一人では歩けそうにないので二人で担いで自宅まで送って来ると言っていたとのことでした。「2人では心配なので、私も一緒に行って、近くのセブンイレブンまで2人を送り届けるので、そこまで迎えに来てください。」と言われました。



その後、黒木先生は、一緒にいた男子2人とコンビニを目指してひた走りに走りました。しかし、コンビニ違いで、どうやら逆方向に走っていたようです。やっと辿り着いたコンビニには、電話の女性が最後まで一緒にいてくださっていました。「今どき、こんな優しくてしっかりした中学生がいるんですね。感動しました。そしたら放っておけなくて・・・。」旅館に着いた2人は、暑さに顔をほてらせながら、ほっとしたせいか、涙が・・・。「たくさん人が通っていたのに、だれも助けようとしないうですよ。」とちょっと怒っていました。黒木先生と一緒に汗だくで走った男子2人も、買ったばかりの扇子でほてった顔をあおいでいました。

さて、2日目の夕食はすき焼きでした。皆、大喜びで、「疲れが癒されるう〜〜！」などと言いながら、美味しい料理に舌鼓を打っていました。







「もったいないから、野菜も全部食べなきゃ！」と、皆の残した野菜を最後まで一生懸命食べる3人。



部屋の出入りは禁止なので、この日も大広間を夜の9時まで貸し切って開放しました。思い思いに自由時間を楽しんでいました。



■ 7月9日（木）くもりのち晴れ

前日の天気予報では、「降水確率80%、豪雨に気をつけてください」ということでしたが、朝方少しばらついた程度で、結局晴れました。蒸し暑い中でしたが、「今日は学習の日」ということで、皆、気を引き締めて一日をしっかりと過ごしてくれました。

この日の朝食です。さすがに3日目、まだ目が覚めていない人も……。いえ、座ったまま眠ってる？





それでも、朝から元気な生徒もいます。「ごちそうさま」をした後も、友達からもらったパンの山を前にして、ニコニコ笑顔で食べていました。



さあ、出発です。2日間お世話になった旅館の方に、しっかりとご挨拶をして京都大学に向かいます。



バスに乗って約30分。京都大学に到着しました。最低3名にインタビューするという課題があったので、事前に各自用意していた質問をするために、道行く学生に恐る恐る声をかけていました。







学生と間違えて大学の先生や職員に声をかけてしまう生徒もありましたが、中には、研究室にまで入れていただいて、大喜びで帰って来た生徒たちもいました。たくさんの学びをいただいたようです。京都大学の皆さま、ありがとうございました。



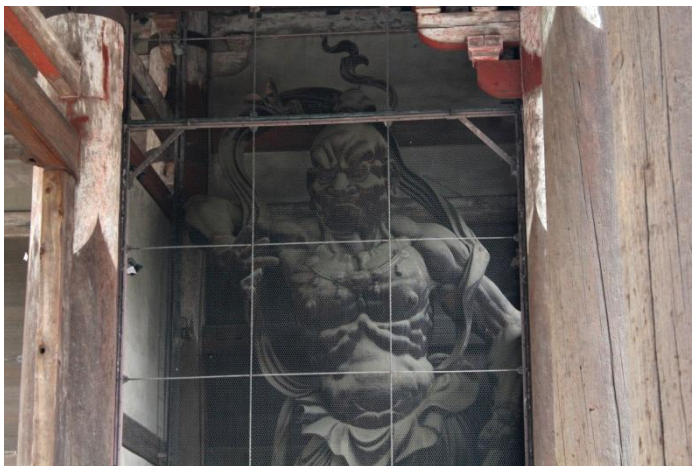
3日目の昼食は神仙境というところでいただきました。初めての幕の内弁当です。



さて、昼食を食べる頃には、空は快晴。しかも気温は高く、雨上がりなので蒸し蒸しとしてきました。ここからは奈良県の観光協会の方が、ガイドを務めながら案内してくださいましたが、生徒たちが聞く態度もよく、歴史などの質問にもすぐに答えるので、つつい説明にも力が入っているようでした。その結果、説明時間が長くなり、移動時は半分走っているような状況になってしまいました。それでも、不平不満を言う人は一人もいません。一番後ろからふうふう言いながらついて行っていたのは、2人の女性職員でした。(笑)







さて、最後は薬師寺です。ここでは、お坊さんによる御法話を拝聴しました。ここでも生徒たちの聞く態度がとてもよかったので、たくさん誉められました。質問にはきちんと声を出して答え、聞くべき時にはしっかりと聞くことができる生徒たちは素晴らしいとおっしゃってくださいました。外で待っていたバスガイドさんと添乗員さんも、「長かったですねえ〜。いつもの倍くらいの長さでしたよ。」と驚くくらい、法話にも熱が入っていたようです。ありがたいことです。生徒たちからも「ためになった。」「面白かった。」など好評でした。



途中で引き返して「一緒に写真を撮らせてください。」とお願いする生徒たちもいましたが、講話をしてくださった僧侶の方はわざわざ外まで出てきてくださいました。いい記念になったようです。



いよいよ最終日のホテルは、USJのオフィシャルホテルのひとつ、ユニバーサルポートでした。大変豪華で、広々とした館内に、皆満足そうでした。ここでは2~3人ごとの客室を利用しました。バスとトイレもセパレート型で、アメニティも充実していて、皆うれしそうでした。



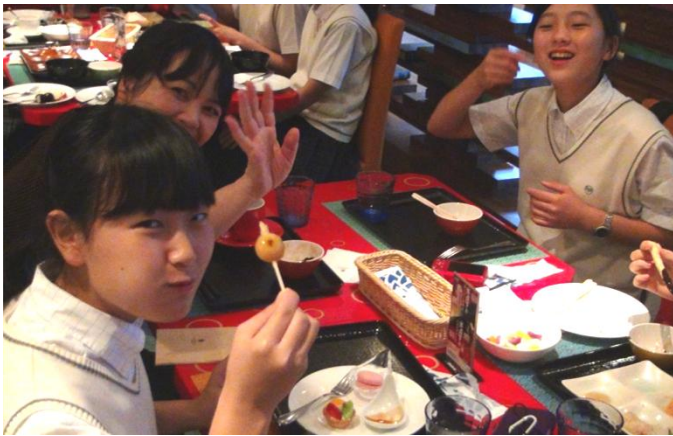
部屋の窓からは、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンの眺望を楽しめました。



到着してすぐに夕食です。2Fのレストランでバイキングです。約70種類の料理が並んでいました。







[エピソード3] *****

実は、この修学旅行中に誕生日を迎えた生徒がいました。そこで、添乗員さんをお願いしてちょっとしたサプライズを準備していただきました。サプライズとは・・・突然ホテルの方々から名出てこられて、生徒たちと一緒にハッピーバースディの歌を歌ってくださったのです。皆も驚きながらも「おめでとう！」と叫びながら拍手していました。思いも寄らぬサプライズに、思わず涙を流す一場面も。素敵な仲間たちです。





さて、7時には食事も終わりましたが、このホテルでは皆で談笑する場所もないので、各自それぞれの部屋で静かにゆっくり過ごす予定でした。しかし、これまでの子どもたちの行動や態度は本当に素晴らしく、信頼に値するものでしたので、思い切って7時から1時間のシティ・ウォークでの自由散策をさせることにしました。(職員と添乗員さんは、各スポットに立って待機しました。)
「明日のUSJ」では、乗り物に専念できるようにお土産を買っておこう！」と大喜びで、皆でホテルのすぐ近くにあるシティ・ウォークに出かけました。



■ 7月10日（金）くもりのち晴れ

朝5時半、部屋の窓から外を覗いてみると、小雨が降っていました。目の前のUSJの駐車場は、雨で濡れて光っていました。この日の天気予報は降水確率80%でしたので、思わずため息が出ました。



しかし、しかし、しかし！ 出発する頃にはだんだん空も明るくなり、入場する時にはとうとう暑すぎるくらいの晴天となり、最後まで天候に恵まれました。皆、日頃のストレスを発散し、本当に楽しそうに過ごしていました。









あっという間に修学旅行も終わりに近づいてきました。一人のケガも、病気も、仲間はずれもなく、ルールをしっかりと守り、本当に楽しくて充実した旅行でした。大阪（伊丹）空港のロビーで、解団式を行いました。



ただ、帰りの飛行機は、台風の影響で宮崎着陸が難しいとのことで、その場合は羽田に引き返すという条件付飛行となりました。しかし、今年の修学旅行は最後までラッキー続きでした。ほとんど揺れることもなく、無事に空港に着陸し、生徒たちは迎えに来られた保護者の方々と一緒に、それぞれの家庭へと帰って行きました。話したいことが山ほどあるはずですが、きっとこの日は皆、帰り着くなり、心地よい疲労感の中でぐっすりと眠ったことでしょう。お疲れさまでした。